

＜対策のポイント＞

飼料輸送に携わるトラックドライバーの人材確保や環境負荷軽減のために、**飼料輸送の効率化・標準化に資する実証等**の取組に対し支援を行い、**安定的な飼料輸送により畜産生産基盤を維持・強化**し、国民への**畜産物の安定供給**を図ります。

＜事業目標＞ [平成30年度→令和12年度まで]

- 生乳生産量：728万トン→780万トン ○牛肉生産量：33（48）万トン→40（57）万トン ○豚肉生産量：90（128）万トン→92（131）万トン
 - 鶏肉生産量：160万トン→170万トン ○鶏卵生産量：263万トン→264万トン
- ※（ ）は枝肉換算

＜事業の内容＞

1. 飼料輸送安定化推進事業

全国及びブロック（飼料工場等が集約されている地域）ごとに、飼料メーカー、運送業者、畜産農家等で構成される協議会等において、**持続可能な飼料輸送の実現に向けた検討**を行う取組を支援します。

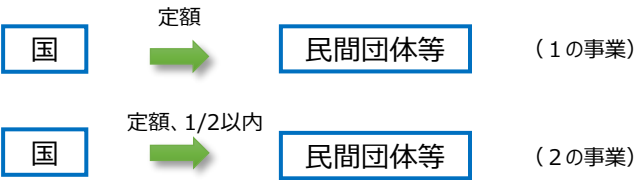
2. 飼料輸送効率化等支援事業

民間団体等が行う**飼料輸送の効率化・標準化に資する実証等**の取組を支援します。

（例）

- ① 飼料タンク内の在庫を把握し、情報共有するためのIoTの導入等の取組
- ② 農場内での高所作業の負担を軽減する等労働環境改善に向けた取組
- ③ 鉄道等を用いた共同輸送及び飼料タンクの改良に関する取組 等

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1 飼料輸送安定化推進事業

協議会等を立ち上げ、飼料輸送に関する課題を話し合い、課題解決のための取組、効果の検証方法、実装に向けた課題等について検討を行います。
（補助率：定額）



2 飼料輸送効率化等支援事業

- 効率化・標準化の実証例（補助率：定額、1/2以内）
- 超音波センサー等を用いた飼料在庫・配送管理の実証
- 飼料タンク蓋の遠隔開閉装置等の設置による飼料投入の効率化実証

